

2020年10月16~18日；四日市東日本大震災支援の会 第75回派遣 宮城県東松島市 あおい芋ほり交流会&震災遺構視察 活動報告

暫定版 2020年9月27日
四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

宮城県東松島市では、集団移転が完了しました。少しづつ普通の生活を取り戻そうとしています。「やっと復興がスタートする」という声を、よく聞いています。支援活動の在り方は変化していますが、復興を応援するボランティア活動を継続し、われわれ多くのことを学んでいます。今回は、東松島市内の最大の集団移転事業でできた「あおい地区」でコロナ禍でもボランティアが参加できる「芋ほり」に参加しました。また、高台にあったのに津波が襲った女川町立病院(現在、女川町地域医療センター)、東松島市震災伝承館、先月オープンした福島県立の東日本大震災・原子力災害伝承館を視察しました。

宮城県東松島市；宮城県石巻市の西、松島町の東に位置し、2011年の東日本大震災では、沿岸地域だけでなく、海岸線から数キロ内陸まで津波が押し寄せ、住宅地の65%が浸水し、たくさんの方が亡くなり、多くの家屋が全壊・流失の被害を受けました。

<活動場所>

■あおい地区

★参加

参加 12名

参加費 15,000円 (ドライバー5,000円)

<費用の内訳>

- ・四日市→宮城県の往復移動
- ・宿泊代 (ホテルのシングルルームに宿泊)
- ・ボランティア活動保険
- ・視察先の入館料



<スケジュール概要>

★10月16日(金)

19:15 四日市大学発 ⇒ 19:30 近鉄富田駅

★10月17日(土)

04:00 郡山で鈴木乗車

07:00 女川町立病院(現在、女川町地域医療センター)

10:00 あおい芋ほり参加

13:00 東松島市震災伝承館

15:30 福島県東日本大震災・原子力災害伝承館

19:00 郡山シングルで宿泊 (鬼頭はマイクロ駐車できるスターホテル、学生は最安リブマックスホテル)

★10月18日(日)

08:00 ホテル出発 ⇒ 箱根観光

20:00頃 四日市大学帰着⇒解散

